

カリブ海に浮かぶ夢の島 ドミニカ共和国

早瀬雅博

1. ドミニカの概要

- (1) 国土面積 : 48,442 Km² (九州と高知県を合わせた位の大きさ)
- (2) 位置 : イスパニョーラ島にあり、東側3分の2がドミニカ共和国、残りの3分の1がハイチ。島の南側はカリブ海、北側は大西洋。
- (3) 国旗 : ドミニカは1844年に独立し、国旗を制定。
中央の紋章には月桂樹とヤシに囲まれた国旗の上に聖書と十字架が描かれ、上下に「神・祖国・自由」の文字と国名が記されている。
- (4) 人口 : 1,006万人 (2011年 世銀)
- (5) 首都 : サント・ドミンゴ
- (6) 行政区分 : 首都圏と31の県
- (7) 宗教 : カトリック教 64%、新教 9%、アドベンティスト 1%、無信仰 23%
- (8) 言語 : スペイン語
- (9) 人種 : 混血73%、ヨーロッパ系16%、アフリカ系11% (多人種、多文化国民であるが、スペイン文化の影響が強い。)
- (10) 政体 : 立憲共和制
- (11) 元首 : ダニエル・メディーナ・サンチェス大統領 (2012年8月~2016年8月、任期4年)
- (12) 議会 : 二院制 (上院32名、下院190名)、任期4年



2. 歴史

- ・ 1492年 コロンブスによるエスパニョーラ島発見
- ・ 1697年 同島の西側が仏領となる（リスウィク平和条約）
- ・ 1795年 仏西戦争の結果全島が仏領となる
- ・ 1804年 ハイチとして仏より独立
- ・ 1814年 パリ条約で東側はスペイン領となる
- ・ 1822年 ハイチ軍による占領（～1844年）
- ・ 1844年 ハイチから独立
- ・ 1861～1865年 スペインに合併
- ・ 1916～1924年 米国による軍事占領
- ・ 1930～1961年 トルヒーリョ将軍による独裁
- ・ 1961年 バラゲールを首班とする国家評議会成立
その後クーデターにより軍事評議会成立
- ・ 1963年 総選挙を経てボッシュ大統領就任
- ・ 1965年 政府軍と反政府軍の武力衝突が発生（米国等派兵）
- ・ 1966～2012年 バラゲール、フェルナンデス、メヒーア、フェルナンデス等の大統領が就任。
- ・ 2012年 メディーナ大統領就任、現在に至っている。

3. 経済

- (1) 主要産業 : 観光、農業（砂糖、コーヒー、カカオ）、鉱業（フェロニッケル、金、銀）、軽工業（フリーゾーンにおける繊維、縫製業）
- (2) 名目 GDP : 556.66億米ドル（2011年：中銀）
- (3) 一人当たり GDP : 5,538米ドル（2011年：中銀）
- (4) 経済成長率 : 7.8%（2011年：中銀）
- (5) 物価上昇率 : 24.4%（2011年：中銀）
- (6) 失業率 : 14.6%（2011年：中銀）
- (7) 主要貿易品目 :
 - ①輸出 繊維製品、電気製品、宝飾関連製品、医薬品、フェロニッケル、タバコ
 - ②輸入 石油・石油関連品、自動車、電気製品、鉄製品
- (8) 主要貿易相手国
 - ①輸出 米国、ハイチ、スペイン、英国、ベルギー、オランダ
 - ②輸入 米国、ベネズエラ、スペイン、メキシコ、コロンビア、中国、日本

- (9) 通貨 : ペソ
(10) 為替レート : 1米ドル=38.72ペソ (2011年平均:中銀)
(11) その他

・従来は砂糖、コーヒー、タバコなどの伝統的製品の輸出が総輸出額の半分以上を占める農業国であったが、1990年代よりCBI特恵や新外国投資法制定を受けて、フリーゾーンからの繊維などの軽工業品の輸出が増加。最近は観光業が着実に発展し、年間の観光客は約400万人。また米国などに居住するドミニカ(共)人からの海外送金も主要な外貨獲得源となっている。

4. いざドミニカ共和国(以後ドミ共と省略)へ

2007年4月3日(月) 予定より30分ほど遅れて12:02に成田を出発、Dallas(米)、San Juan(プエルトリコ)を経て同日20:40予定きっかりにSanto Domingoに到着。時差は13時間。こちらの朝7時が日本の夜8時にあたる。Santo Domingoの通関所前にJICAの調整員が迎えに来てくれたので、通関も難なく通過、換金も終えホテルへ。

翌日、JICA事務所でオリエンテーションがあり、翌々日から5月1日まで、スペイン語の語学研修をする事になった。10日ほどして、JICAの調整員と任地アスアでの住宅を選びに行きアパートを決めて来た。

5. ドミ共ってどんな国?

- ・コロンブスが発見し、発展させた国。
- ・1990年、首都セント・ドミンゴの旧市街がユネスコ世界遺産に指定。
- ・南北アメリカ大陸最古の教会、大学、裁判所がある。
- ・カリブ海に浮かぶ海の美しい島
- ・温暖な気候であるが、ハリケーンが年に数回やってくる。
- ・エイズ、コレラ、マラリヤ、デング熱などの病気が多い。
- ・アメリカへの出稼ぎ者が多い(約100万人)。
- ・アメリカで犯罪を起こした人達が年間数千人送還されてくる。
- ・日本人移民者が苦勞した国。
- ・ラリマールというブルーの美しい宝石が産出される
- ・野球は世界レベル(サミー・ソーサ、ペドロ・マルティネス選手)
- ・広島カープが野球アカデミーを開設し、有望な選手の発掘と育成を実施。
- ・麻薬絡みの事件が多い。

6. ドミ共の人々

- ・陽気で明るく、大らかである。
- ・混血の割合が高く、美人が多い。
- ・シングルマザーが多く、子供は祖父母や親戚縁者が助け合って育てている。
- ・ハグ（抱擁）して挨拶する。
- ・音楽とダンスが大好き。

（メレンゲという音楽とダンスはドミ共が発祥の地）



7. 気候

亜熱帯地域に属し、首都サント・ドミンゴでは年間平均気温は約26℃で夏と冬の気温差は少ない。カリブ海からの季節風の影響により比較的過ごし易い。任地のアスアはドミ共で一番熱い地域と言われ、夏は暑かった。逆に高地のハラバコアやコンスタンサなどは夏でも過ごし易く、冬にはストーブを焚いている

8. 首都サント・ドミンゴ

1492年、コロンブスがイスパニョーラ島を発見し、コロンブスの弟、バルトロメがオサマ川の東側に町を作り、1502年スペインから新総統がやってきてサント・ドミンゴと名付けた。この地域をソーナコロニアル（植民地地域、旧市街地）と呼び、1990年にユネスコの世界遺産に指定された。新大陸初の大学、教会、病院、裁判所などがある。



コロンブス広場



サント・ドミンゴの海岸

又、大きな植物園があり、その中に日本人が作った立派な日本庭園がある。この日本庭園がこの植物園の目玉スポットとなっている。

サント・ドミンゴ周辺には洞窟がいくつかあり、その中にトレス・ロス・オホス（三つの瞳）と呼ばれる洞窟がある。

市内からタクシーで20～30分の所にあり、観光名所になっている。地上の入口から階段で地下へ降りて行くと、澄み切った水を湛えた地底湖が現れる。名前の通り、湖は3つに分かれており、一番大きな湖では対岸へ行く渡し船がある。対岸までロープが張ってあり、そのロープを手で手繰り寄せる原始的なもの。でも、櫓をこいだりしないので、湖の水を掻き回す事が無く、水は非常に透明で、底まで良く見える。渡し船で渡った先に恐竜や大トカゲが出て来そうな場所がある。昔、映画「ジェラシックパーク」のロケがここで行われた。



日本庭園



ジェラシックパークのロケ地

9. カサ・デ・カンボ

サント・ドミンゴから東へ約 100 キロの所にラ・ロマーナという小さな町があり、そこにドミ共最大、最高級のリゾート地がある。エグゼクティブの為のリゾート地であり、2.8 万㎡以上の敷地内には 300 部屋のホテル、150 軒のヴィラ、プール、13 面のテニスコート、3 つの 18 ホールゴルフコース、乗馬コース、プライベートビーチ、ゴルフコース、マリーナなどがあり、移動はゴルフ用カートを使用する。又近くには 16 世紀頃の地中海風の建物（教会、土産物店、レストランなど）やローマ劇場などがあるアルトス・デ・チャボンというヴィレッジもある。



ゴルフコース



ローマ劇場

10. 大統領を飲む

2007年5月、グアグア（小型乗り合いバス）の値上げがあり、学生や一般市民による激しい抗議行動があり、車が焼かれたりした。その直後に、車を借りてスペイン語学校の先生と学生10人ほどでソーナコロニアル（旧市街地）へ見学旅行に出かけた。車中、誰かが「大統領が値上げを認めたからこんな事になったんだ。大統領が悪いんだ」と言った。皆「そうだ、そうだ」と相槌を打っていた。そこで、私はすかさず「そうだ、そうだ。大統領が悪いんだ。だから大統領を飲んでやるんだ」と。車内一同、大爆笑。何故かって？ ドミニカ共和国にはプレジデンテ（Presidente 大統領）というセルベッサ（ビール）がある。日本の大瓶に相当する大きさの瓶で約220円。とっても美味、殆んど毎日、大統領を飲んでいたが、近頃の大統領少しは庶民や学生の為の政治をしているかな???

11. 屋台

時々、近くの道路を閉鎖して、特設ステージが作られる。大きなスピーカーから音楽を流し、道の両側に沢山の屋台が出る。屋台はビールやジュースを売る屋台、焼き鳥や焼き肉を売る屋台、おもちゃを売る屋台、ゲームや賭けをする所などが出た。写真を撮ったおばさんの屋台で焼鳥と焼豚を買った。値段が高かったの、値切ったがまけない。値段の割にはまずそうだったが、食べてみたらやっぱり固くてまずい。食べあぐんでいたら、後から男の子が手を出して来た。あげたら美味しそうに口の中に放り込んでいた。あまり貧しそうではなかったが、こちらでは一日一食しか食べられない人達も結構いるそうだ。



12. 任地アスア

(1) アスア

私の配属先であるINFOTEP（職業訓練庁）南部校のあるアスアはドミ共の首都サント・ドミンゴの西方、バスで2時間位の所にある。人口約3～4万の小さな町である。正式名称はコンポステーラ・デ・アスアと言い、スペインのコンポステーラ・デ・サンティアゴが名前の由来となっている。この地域はドミ共でも一番暑い地域と言われており、夏は本当に暑い。

(2) 間借り生活

アイムファイン、アイムファインと快調に回っていた天井ファンが30分もするとアグア(水)、アグアと喘ぎだし、その後アウ、アウ、アウと悲鳴をあげる。置いておいたスイカが3日間で腐った。初めて知ったスイカの腐った臭い。いやな臭いが3日経っても抜けない。窓の無い真っ暗な部屋、エアコンはあるが気まぐれで、まともに働いてくれない。暑くて堪らない。夜中に目が覚めて、シャワーを浴びたが、身体を拭いたとたん汗が噴き出す。

隣のバーニョ(トイレ付の風呂場)には錠戸があるが風は全く入らない。逆にいろんな虫が入ってくる。ゴキブリ、蟻、蛾、蚊がたむろする蜘蛛の巣。水はあちこちで水漏れがするので、水道の元栓を大家が止めてしまう。朝の7時から30分位だけ水が出る。後は溜め置きの水を使う。お湯なんて無い。水道水が来ている時に慌ててシャワーを浴びるが、シャワーノズルがないので、水道からチョロチョロ出る水を頭からかぶる。家にはお婆さんと子猫一匹だけ。朝から夜遅くまで窓を開けっ放しにして、お婆さんは家にいない。そんな部屋に2週間ほど間借りして生活した。

(3) アパート生活

JICAの規定では「安全対策が完了してから、入居する事」となっているが、予定通りになかなか安全対策工事が進まない。何度も延期されたので、強硬手段に出た。鉄格子取り付け完了予定日に入居した。案の定、工事は遅れ、入居後も工事が続いた。部屋の中は埃だらけになり、あちこち汚され困った。



入居後、電気が来ない事が判明、若い電気屋が来てくれたが、原因不明。仕方がないので電線を買って来てくれて、窓の外側から、地上にある配電盤に接続。翌日にはショートして又停電。4人がかりで、配電盤やら、アパートのあちこちの配線を調べて、ようやく電気がついた。その翌日、階下の住民からクレーム。「おれの家が電気がつかなくなった！」

散々な目に逢って、やれやれと思ったら、今度は水。アパート共有の地下タンクに水を貯めておいて、屋上にある各自のティナコ(水タンク)に揚水するのだが、地下タンクに水がない。水の手配を誰もしない。地下タンクに少し残った水を汲み出していた家族がいたので、少し分けてもらった。しばらく経って、誰が手配したのか、タンクローリーで水を運んできた。その後も、水が無くなって、しばらくしてからローリーで水が来る。後日、アパー

トの連中が以前、水道代を払わなかったので、水道が止められている事が判明した。一戸当たり4000ペソの負債を2000ペソにまけてもらって、水道水が来るようになった。地下タンクからティナコへ毎日水を上げていたが、配管途中の逆止弁が傷んでいる事に気づき修理をしてもらった。

(4) 病気

理由もなく、足首が腫れて痛くなり、あわてて病院へ行った。何か知らないが、いきなりお尻にブスッと注射をされ、しばらくしたら「痛みが治まったか？」と医者が聞く。どんな注射なの???

血液検査の結果、サルモネラ症だから、抗生物質を時間通り、一定期間3種類、1錠ずつ15錠全部飲みきれとの指示。又ASO値が高いので、ペニシリン注射をすと言っブスッ。ペニシリンは後2回、21日毎に打つという。ASO値って何?? インターネットで調べたけど、ASO値の高くなった時の症状なんか何も出ていない。本当にASO値は高いの? サルモネラ菌の検査って血液検査でやるの~??? 尿酸値が3.6だって? こんな低い値は今まで出た事ないよ~。検査結果に不信を抱きつつ薬は全部飲みきった。

「アルコールはだめ」と女房よりうるさい秘書のシェイラに堅く止められていたので、3週間ストップ。禁断症状が出てきたので、止む無く、サント・ドミンゴのJICAの顧問医に相談。検査の結果、ASO値なんて全然高くない。注射の必要なしとの判断。

ア〜ア……。でも便検査の結果、お腹にカビ菌がいるので、薬を飲むよう指示あり。冷蔵庫の中の食品にもカビが生えるから、温度の高い私のお腹には当然カビも生えるか???

(5) やられた〜

仕事を終えて家にたどり着いたとたんに「やられた〜」と感じた。鉄格子と木製ドアの錠前が壊され、何者かに侵入された。警官を呼んでもらったが、なかなか来ない。配属先の人が工事人を連れて来てくれて、錠前を直すと言う。「指紋を採るだろうから、警官が来るまで、錠前に手を触れるな」と言っていたが、警官がなかなか来ない。「6時から停電だから早くしないと、錠前の取り付けが出来なくなる」というので、止む無く錠前交換工事に入った。JICAから調整員と安全担当のカストロ大佐が駆けつけて来てくれた。警官や配属先の人達と今後の対策を打ち合わせた。ところで何を盗られたの? 「エーッと。現金は盗られてないし、パスポートもスーツケースもあるし〜。アッ冷蔵庫の中の2, 5リットル入りの水のペットボトルが無い。

アレ！食器洗い用のスポンジも無い」被害はこれだけ。警官も拍子抜け。現金狙いのコソ泥だと思ふ。持って行くものが、無いほどシニアボランティアは貧しいのか？ 少し自尊心を傷つけられたが、まあ盗られるよりいいや・・・でも、夜強盗に入られたら、こうはいかない。玄関ドアとベッドルームの内側に頑丈なカンヌキを付けてもらった。玄関の鉄格子の外側にも南京錠を2個つける事になっているが、これは未だ工事が出来ていない。

(6) オラ～こんな村いやだ～～

アパートの大家がアメリカに行っていて全く対応が出来ない。電気、水、病気、泥棒と災難が続き最後にティナコにコンクリートブロックを10個ほど放り込まれた。何も悪い事はしていないのに「何でだろ～～」。これでプツンした。オラ～、サント・ドミンゴへ行く。JICA現地事務所も住居変更を許可してくれたので、転居した。その後はサント・ドミンゴから通い、週何日かずつ、日本人移住者Kさんの家に泊めて貰って仕事をした。

13. 移民問題

(1) 移民の募集

「カリブ海に浮かぶ楽園、ドミニカ共和国。一世帯当たり300タレア（18町歩＝東京ドームの4倍の広さ）を無料で差し上げます。住む家も用意します。自給できるまで、一人一日60セント（一か月18ドル）差し上げます。」こんな内容でドミニカ共和国への移民募集が始まったのが1956年（昭和31年）年3月。多くの人たちが大農園主になる事を夢見て応募した。1,000人に1人と言う難関をパスし、ドミ共行き切符を手にした人たちは宝籤に当たったようだと言った喜びをした。

(2) 夢の生活はあったのか？

1956年から1959年にかけて249家族、1319人の人たちが移住した。土地が十分に配分されず、又荒地で石ころが多く、水利設備も不十分だった。塩分を含む土地へ入植した人達もいた。多くの人達が入植地を捨てて、他の土地に移った。

トルヒージョ大統領が1961年5月に暗殺された後は元地主たちが土地返還要求をして来て、危険な状態に陥った。土地購入のため日本政府から多額の借金をしたが、生活費に回してしまった人が多い。ドル建てで借金をしたため、ペソの下落と延滞金で借金は数倍に膨れ上がった。現在、使用中の土地も50年たった今でも所有権が与えられず、耕作権のみである。

(3) 裁判と和解

この問題が裁判事件になった。しかし、東京地裁で除斥期間（20年）を経過しているため、損害賠償請求権は消滅したとの判決が出て敗訴した。この裁判で国の責任もあるとされたので、当時の小泉首相が謝罪し、和解一時金を出した。

(4) 移民者との交友

① 噛みつかれた～

移住者のMさん宅に挨拶に行った。チワワ2匹に激しく吠え立てられ、大歓迎を受けた。留守番のおばあちゃんと少し話をして、帰ろうとしたら、帰りのキス代わりにズボンに噛みついてくれた。アスタルエゴ（又な）。

② ウニ

アスアの海岸にはウニがイ～パイいる。現地の人たちは食べ方を知らないもので取り放題。でも浅瀬にいるウニは小粒である。移住者のKさんに時々連れて行って貰って沢山採った。海で食べ、家へ持ち帰って寿司にして、ウニ丼にして食べた。こんなに新鮮なウニを食べたのは何十年振りだろう。いや～初めてだ。

③日本人会メンバーとの交流

毎年、日本人会の人たちと大使館員、JICA職員、シニアボランティア、海外青年協力隊員でソフトボール大会、卓球大会、盆踊り大会、新年会などが行われ、楽しく交流が行われている。

14. 旅の思い出

(1) 世界で4番目に美しい海

2008年8月中旬、シニア3名、ヤング5名の計8名で、世界で4番目に美しいと言われるバイア・ラス・アギラスとベアタ島へ2泊3日の旅をした。早朝5時、近くのスーパーへ集合、タクシーでグアグア（小型バス）乗り場へ行き、サント・ドミンゴを6時に出発。途中、勤務地のアスア、バラオナ、海の綺麗なパライソを通り、目的地ペデルナーレスへ到着したのは午後2時過ぎ。ペデルナーレスでは、日本人家族のTさんのお宅で大変お世話になった。2人の子供さんが、よく世話をしてくれ、宿も探



してくれていた。宿に落ち着いた後、近くのレストランで乾杯。

翌日は5時起き、Tさんの息子さんが運転するカミオネタ（軽トラ）で船着き場まで行き、そこで、エンジンを取り付け、いざ出航。

2日目は4時起き、5時出発だと船頭が言った。だが眠くて起きられない。結局、前日と同じ時間に出発。ベアタ島に着いたのはお昼過ぎ、早速イグアナのお出迎えにびっくり。イグアナはガラパゴス諸島の専売特許？とっていたので、喜んで沢山の写真を撮った。

(2) 無免許でダイビングに挑戦

カバレテでは初めてダイビングに挑戦。潜る日の前日にプールで30分位トレーニングを受けたが、その時に眼鏡に入った水を排出するのに失敗し、鼻から水を吸い込み、パニック状態になった。

プールだったから良かったが、本番だったらと思うとゾッとする。潜るのを止めようと思ったが、娘が「私が付いているから大丈夫！」と言うので、まあ、ここで天国へ行っても・・・（イヤー地獄の方が近いか〜）と勇気を振り絞って、地獄に近い所へ潜った。でも見たのは天国だった。2クール潜って、海岸に戻り、やれやれ天国にも、地獄にも行かずに済んだと思った瞬間、大波に襲われ、すってんころりん。錘を付けたままだったので、立ち上がれず、浅瀬で溺れそうになった。「何事も最後まで手を抜くなーと自然から教訓を受けた。



15. カーニバル



16. JICA の活動

(1) 職業訓練庁南部校

私は職業訓練庁南部校に配属され、南部各地の企業に対し、労働安全衛生に関する指導を行うことになった。この学校には電気工学、美容、料理、バー・レストランの学科があり、学生に対し教育を行っていたが、この他に企業支援部という部門があり、この部門で企業支援を行っていた。



(2) 日本式労働安全衛生の指導

最初の3ヶ月間位は実質的なカウンターパートの問題でガタガタし仕事にならなかったが、その後、カウンターパートが決まり、活動に入った。まず始めに企業訪問を行い、指導する企業を決めた。

業種は、船舶修理工場 (1) 自動車修理工場 (2) 家具製造 (1) 飲料水製造 (2) 水力発電所 (5) ケチャップ製造 (1) スーパーマーケット (2) 病院 (2) 金物店 (4) 銀行 (1) コンクリートブロック製造 (1) 食品販売 (1) 製糖工場 (1) セメント製造 (2) 農産物製造 (1) 縫製工場 (1) ケーブルテレビ (1) 協力校、外部校 (9) の合計 38 企業を訪問し、要請に応じ、定期的又は不定期に指導を行った。

(3) 指導内容

- ・ 職場のパトロールの実施
- ・ 不安全箇所、不安全行為の指摘と対策の提示
- ・ セミナーの開催
- ・ 安全衛生委員会の機能強化
- ・ 報告書の提出
- ・ 資料及び教育用 CD の提供
- ・ タイムスタディの実施と生産性向上対策の提示



指差呼称の訓練風景

(4) 成果

- ①多くの企業で5Sや職場パトロールの推進、不安全行為及び不安全箇所の指摘と改善、作業環境の改善、指差呼称、タッチアンドコール、KYTの推進が図られ、安全成績も良くなった。
- ②私がいなくなった後もカウンターパートが一人で指導できるように育った。

以上